

推進チーム検討会まとめ

(脳卒中G・認知症G・癌G)

推進チーム(脳卒中G)

☑開催日時:平成25年 2月12日(火) 18:30~20:00

☑場所:脳神経外科センター

☑参加者数:20名

グループ長:馬場添CM

グループ構成



●協議内容

- ①各職種、団体での必要情報の内容についての確認
- ②地域における相談窓口の体制作り
- ③各職種、団体間での情報共有手段についての検討
- ④脳卒中連携パス協議会について

職種	氏名
医師	有川 清猛
医師	寺田 耕作
医師	宮之原 正和
歯科医師	江藤 克己
歯科医師	前田 敏光
薬剤師	平田 律子
看護師	宇都 和代
課長補佐	上原 順子
介護支援専門員	内 亮
介護支援専門員	★ 馬場添 司
ヘルパー	久保 龍子
介護福祉士	橘木 加代子
理事長・施設長	丸田 大剛
通所リハビリター ・介護福祉士	祝迫 直美
理学療法士	濱田 直人
言語聴覚士	尾崎 幸平
健康増進係長	西原 洋子
民生委員	池田 幸雄
同協議会会長	勝目 真理子
	山本 一

推進チーム(脳卒中G)

■第1回のワーキンググループの目的

- ・各職種、各団体が必要と思う情報の聴取
- ・脳卒中地域連携パス協議会の設立について

☑ 必要と感じている情報

① 生活環境のこと

- ・家族関係(key-pearson、緊急連絡先など)
- ・金銭的なこと

② ADLの事

- ・入院前、入院中、退院後

③ リスクの事

- ・転倒の危険度
- ・誤嚥の危険度
- ・再発の危険度
- ・服薬管理の困難度合
- ・注意が必要な血圧についてなど

④ 医療の事

- ・薬の種類
- ・血液データ
- ・血圧のことなど

⑤ 個人の問題

- ・性格
- ・精神的な問題(引きこもりや、うつなど)

☑ 緊急時の連絡先、相談窓口について

・再発時

- ・明らかに薬が飲めていない時
- ・家族との関係(介護放棄など)

・転倒時

・夜間帯での連絡先

※日中と夜間帯での連絡先

- ・何か発言がおかしい(認知症?)
- ・孤独死を発見した時
- ・口腔内の汚染が著しい時

・かかりつけ医との連絡が取れないとき

⇒複数主治医制に?

⇒夜間帯の対応病院、医師を決めていれば?

・介護サービス利用状況について

・安否確認

⇒急に連絡が取れなくなった

・各病院、診療所での相談窓口

⇒5~6年前に包括が作成した、医療連携担当シート(窓口担当者)の再作成を行ってはどうか?

推進チーム（認知症G）

☑開催日時：平成25年 2月13日（水） 18:30～20:00

☑場所：脳神経外科センター

☑参加者数：20名

グループ長：福屋CM

グループ構成



●協議内容

当地域における認知症の方を取り巻く課題の抽出

職種	氏名
医師	新山 豪一
医師	井上 康
歯科医師	糸永 昭仁
薬剤師	下田 健一
薬剤師	小川 武彦
相談員	吉内 朝子
相談員 ▲	上酔尾 梓
介護支援専門員	久木崎 祐一
介護支援専門員 ★	福屋 謙一
地域包括ケア体制コーディネーター	岩原 克美
ユニットリーダー・介護福祉士	今辻 幸樹
作業療法士	木下 忠
民生委員	池田 博一
同協議会副会長	東 育代
保健師	芹ヶ野 里美
健康増進係長	西原 洋子
主査	下園 克志

推進チーム(認知症G)

■ 会議での課題のまとめ

☑ 相談窓口について

- ・初期時の相談窓口(少しおかしいと感じた時に)
- ・緊急時の相談
- ・残薬を見かけたとき
- ・認知症の方が自宅(地域)に戻る際の相談
- ・認知症の方へのサービス内容についての相談
- ・徘徊している人を見かけたときの相談
- ・安否確認を行いたいときの相談
- ・お金を払ってもらえない時の相談
- ・認知症の方の運転を見かけたときの相談

☑ 認知症の理解について

- ・家族の理解が得られない
- ※認知症と認めたくない、お互いが認知症で理解がない
- ・医師の理解(当地域の医師が同じ様な認識での対応が必要では)
- ・薬についての理解
- ・老老介護(お互いに認知症があり、介護力とはなりえない)
- ・様々なタイプの認知症への対応方法を知っておきたい
- ・地域の理解

■ 次回の検討事項

#. 認知症に対しての社会資源(地域資源)の抽出と、上記課題に対しての対策の検討

※包括支援センター事業の協業

■ その他の意見

・振興局から来年度包括支援センターが、“**認知症ケアパス**”の事業を展開するとのこと

推進チーム(癌G)

☑開催日時:平成25年 2月18日(火) 18:30~20:00

☑場所:脳神経外科センター

☑参加者数:14名

グループ長:服部師長

●協議内容

- ・癌患者を持つ家族が不安に感じている要因についてのアンケート作成
- ・身寄りのない癌患者が在宅に帰るために必要なことについて



職種	氏名
医師	牧野 虎彦
医師	丸田 修士
医師	萩原 健一
薬剤師	真子 敏哉
歯科医師	流鏑馬 祐二
看護師 ★	服部 郁代
看護師	栢木 香織
看護師	松園 進矢
看護師長	津久井 友子
介護長・介護福祉士	前潟 明美
技術専門員	田中 睦美
保健所所長	宇田 英典
介護支援専門員	増満 千秋
民生委員	漣泊 昭子

推進チーム(癌G)

■ 会議での課題のまとめ

・不安について

痛み(本人、家族への対処方法と説明)

病状進行に合わせた説明と支える側の共通認識

最期の時の説明(医師同士の連携、家族の同意、本人の意思)

在宅でのサービス情報の開示

～次回の開催事項～

- ・臼杵医師会の取り組み紹介
- ・アンケートの作成

その他の開催事項

- ・医師・訪看・ケアマネなどを対象とした緩和ケアについての研修会
- ・患者、家族への病期ステージに分けての説明の方法と内容について